

「文化の日」に市政功労者を表彰

11月3日(祝)の「文化の日」に、本市表彰条例に基づき市政に寄与・貢献された方々を表彰します(有功賞3人、功労賞3人)。また、日頃からさまざまな分野で活躍、善行奉仕をされている41人と1団体に感謝状を贈呈します。掲載の了解をいただいた受賞者は次の皆さんです。(順不同・敬称略)

有功賞 山元建(市議会議員)、浜地慎一郎(同)、小林義典(同)

功労賞 ●教育文化=西留清信(元校長)、前田豊子(前池田市地域婦人団体協議会会長)

●福祉衛生=柴田邦隆(元病院長)

感謝状 ●自治振興=永嶋康夫、美濃部昭、松家定平、阪中浩美

●教育文化(個人)=寺本静江、山片重徳、渡辺禪、美馬周一、和泉良太郎

●体育・スポーツ=荒井秋子、森崎勝義、中井百合子、中谷康彦

●公安消防=高橋誠、山内崇章、秦伸一

●社会福祉=阿部道子、久谷邦夫、見片鈴子、今西孝子、山脇智美、小路清美、上島光代、杉林里美、石田かつ子、石田憲道、村田美代子、瀧陽子、池田秀子、中村昭義、長田治美、田中透、梅澤武一、尾川由紀恵、尾田栄子、片山展子

●善行=中野倫太郎、池田元彦、畠山定直

●教育文化(団体)=グランマ・エコーズ

問い合わせは秘書課 ☎754・6201

令和4年 保育所などの新規入所申し込み

4年度の保育所などの新規入所申し込みを始めます。申込書は11月1日(月)から幼児保育課で配布、または市ホームページからダウンロードできます。

対 保護者が共働きや病気などの理由で保育を必要とする、生後57日目以降の子どもを育てている家庭 **¥** 保育料(3~5歳児は無償)、給食費(3~5歳児)、個人用保育用品費など **申** 次の①~③の方法で受け付け①12月1日(火)~14日(火)に、申込書類を持って直接幼児保育課。(土・日曜日は除く)②11月1日(月)~19日(金)(消印有効)に特定記録や簡易書留などの配達記録が残る方法で幼児保育課(〒563-8666、住所不要)③11月15日(月)~24日(火)(土・日曜日は除く)次のAまたはBの、該当する施設に提出。A…現在利用中の子どもの転所、またはそのきよ

うだいの新規申込は、現在利用している施設に提出。B…A以外の方は古江保育所、なかよし・ひかりこども園、さくら・あおぞら幼稚園のいずれかに提出。

※申込期間後に生まれた方や、やむを得ず期間中に申し込みができない方は、4年1月31日(月)までを2次募集として受け付けます。また、3年度中に入所申し込みした方で、4年4月以降も入所を希望する方は再度申し込みが必要です。その他詳細は、11月から同課で配布する「保育施設入所ガイド」または、市ホームページをご覧ください。

■4年4月から幼保連携型認定こども園・てんじんこども園(仮)が新設

場 天神1-1-13 **対** 0~5歳児(幼稚園部分は3~5歳児) **定** 136人(幼稚園部分は計9人。募集中) **問** 天神保育園 ☎761・3887 ※その他地域型保育事業(0~2歳児)が新たに開設予定です。

■AI保育コンシェルジュに相談

24時間365日、質問に自動でお答えする、AIを活用した相談システムです！
保育所のこと、いつでも相談してね。



問い合わせは幼児保育課 ☎754・6208

市政トピックス

11月

行財政改革推進プランⅢ 令和2年度最終報告

令和元年度から4年度までを改革期間としている行財政改革推進プランⅢについて、令和2年度の取組状況を報告します。

本市では、平成23年度から第6次池田市総合計画によるまちづくりに取り組んでいます。そのまちづくりの基本目標の一つである「行財政改革を推進し希望の持てるまち」を達成するために、次の4つの施策を実施しています。

- ①開かれた市政の推進
- ②健全な行財政運営の推進
- ③広域行政の推進
- ④情報通信技術の活用

同プランによる改革の目標と数値の推移は次のとおりです。

- ①財政調整基金残高 令和4年度末20億円以上
 - ②経常収支比率90%台
 - ③実働職員数（職員数から療養休暇、産前産後休暇、育児休暇を利用中の者や休職中の者を除いて算定した人数）600人程度（一般会計）
 - ④良質な市民サービスの確保のための「働き方改革」の推進（職場環境の整備）
- 《中期目標》安定的な財政構造の確立（臨時財源補てんをせず形式収支黒字化）

【各種数値目標の推移】

（単位 ①・《中期目標》：百万円、②：％、③：人、④ア：日、イ：％、ウ：人、エ：件）

区分	平成30年度 (参考)	令和元年度	2年度	3年度	4年度
① 財政調整基金残高(年度末)	5,348	5,250	4,812	—	—
② 経常収支比率	94.7	93.4	※94.8	—	—
③ 実働職員数(4月1日時点)	588	585	578	590	—
④ 働き方改革の推進					
ア 年次休暇の平均取得日数	10.1	10.1	10.9	—	—
イ 年次休暇の取得日数が10日未満の職員の割合	55.5	50.6	48.2	—	—
ウ 勤務時間の弾力運用の取得実人数	62	71	58	—	—
エ テレワークの実施件数	—	—	100	—	—
《中期目標》形式収支	238	507	296	—	—
臨時財源補てん額を除いた場合	△166	34	△251	—	—

※令和2年度の経常収支比率は速報値。

新型コロナウイルス感染症の影響として、市税収入の減少や、感染症対策経費の発生などにより、①や②の成果指標の急速な悪化が懸念されましたが、国による財政支援の積極的な活用などにより大幅な悪化は回避できました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えず、市税収入の先行きは不透明であり、本市財政は依然として予断を許さない状況であるため、より一層の行財政改革を推進します。なお、令和2年度の主な取組内容は、次のとおりです。

①開かれた市政の推進

【市民参画の推進】産官学民の連携による地域課題の解決、東京オリンピック開催に伴う市内企業や各種団体などの市民参画の推進

【広報機能の充実】「暮らしの便利帳」の官民協働による改定、ホームページにおける市政やまちの話題の情報発信

【情報公開などの充実】審議会などの会議の公開の推進、市民意識調査の実施

②健全な行財政運営の推進

【行政の効率性と財政の健全化の確保】AI技術などの新たな技術の導入による事務処理の効率化とサービスの向上、クリーンセンターの運転管理業務の民間委託の検討、学校給食センターの運営の民間委託の検討、個別施設計画の策定と公共施設等総合管理計画の更新、低区配水池の跡地活用の検討、下水処理施設の運用見直し、市立池田病院の診療機能の向上による収支状況の改善

【歳入の確保】多様な納付方法の提供による納税者の利便性向上、債権管理条例に基づく市債権の適正管理、ふるさと納税制度の活用によるみんなでつくるまちの寄付の募集

【活力ある組織づくりと適正な人事管理】多様な任用形態の効果的な活用による業務の効率化と行政サービスの向上

③広域行政の推進

【他市町との連携の強化】豊中市との消防指令業務共同運用の継続と他市町とのさらなる連携の検討

④情報通信技術の活用

【情報システムの機能強化】問い合わせ自動応答システム(AIチャットボット)の導入

【行政情報の活用の高度化】ウェブサイトなど各種ツールを活用した子育て支援施策の効果的な情報発信

【情報セキュリティ対策の高度化】情報システム運用基準の整備

今後も、市民サービスの質を確保しながら、行財政改革に着実に取り組みます。

なお、最終報告は市ホームページや行政情報コーナーでご覧いただけます。

問い合わせは行財政改革推進課 ☎754・7003

古絵図とついでに 文化財ウォーキング

歴史民俗資料館特別展「古絵図に何がかがかかっている?」―絵図にみる池田地域―と秋恒例の「文化財公開ウォーキング」の合同企画です。

歴史民俗資料館で江戸時代の池田村の古絵図を見学し、その後、実際にまちを巡りながら、途中いくつかの文化財をご案内します。

深まる秋の一日、わがまちの歴史と文化財を堪能してはいかがでしょう。か。

主な場所	予定時間
歴史民俗資料館	午前 9:00～ 9:30
上池田薬師堂	午前 9:50～10:05
法園寺	午前10:10～10:30
吉田酒造	午前10:50～11:20
稲束家住宅	午前11:40～正午



■11月20日(土)午前9時歴史民俗資料館前集合(小雨決行) 講 市文化財保護審議会・吉原忠雄、同館学芸員 定15人 申11月4日(木)午前9時30分から電話またはファクスで同館 ☎751・3019

歴史民俗資料館

(五月丘1-10-12)

江戸時代の古絵図をテーマに、池田地域の村々の古絵図約40点を展示。その中から、今回巡るエリアが描かれた池田村の古絵図について、見どころなどを紹介します。

写真は「延享三年摂州豊島郡池田村絵図(安政四年写)」です。この絵



図をはじめ、池田村の古絵図は大型のものが複数確認されています。描かれた詳細な内容から、江戸時代の池田村の特色についても解説し、あわせて、このあとに巡る地点やルートも古絵図上で確認していただきます。

上池田薬師堂

(上池田1-9-7)

◎薬師如来立像(市指定文化財)
像高145cmのほぼ等身像、サクラ材の一木造で、平安時代、10世紀ごろに造られたものです。優しい表情と体部も威圧感のない表現です。



法園寺

(建石町3-1)

◎阿弥陀如来坐像

浄土宗である同寺の本尊で、像高53cm。一部江戸時代に改変されている可能性があります。正面から見ると丸い面や、緩やかな曲線の衣文など、典型的な平安時代後期の様式を示しています。



◎聖観音立像

像高170cm、ヒノキ材で平安後期12世紀の制作と思われる。右手は内側に向けて五指を伸ばし、左手に持つ蓮華のつぼみを開くかたちをしています。



◎二祖対面図

浄土宗の開祖・法然が夢の中で中国の浄土教祖師に会う場面を描いたもので、室町時代の作品と思われる。府内では唯一とされています。

吉田酒造

(栄本町262-2)

現主屋は明治10年の火災後に再建されたものですが、近世池田の大型酒造業の主屋形式をよく伝えています。 ※外観のみの見学です。

稲束家住宅

(綾羽1-2466)

近世池田の商家として、虫籠窓や本瓦びきの外観など往時の姿をよく残しています。 ※外観のみの見学です。

問い合わせは歴史民俗資料館 ☎751・3019